



それいゆ 広報

Vol.111

医療法人 同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063
- 折茂 医院 TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ TEL0577-37-3360
- 病児保育室 プティそれいゆ TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ TEL0577-35-0710
- シャロンド それいゆ TEL0577-34-5026
- デイサービスセンター べれる TEL0577-36-7077
- Dr. Orishige ビオメゾン TEL0577-37-0800
- ヘルパーステーション レザミ TEL0577-37-0800
- デイサービスセンター れざみ TEL0577-37-5666

レザミひだ 事業移管にあたっての御挨拶

医療法人 同仁会

理事長 折茂 謙一



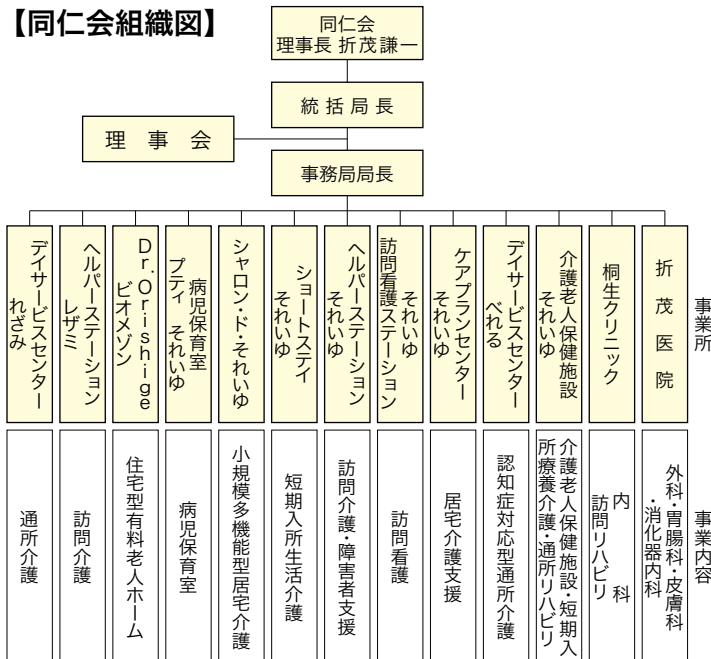
暑中お見舞い申し上げます。暑い日が続いています
が、皆様お変わりございませんか。

この八月一日から株式会社レザミひだで運営してまいりました住宅型有料老人ホーム Dr. Orishige ビオメゾン、ヘルパーステーションレザミ、デイサービスセンターれざみを医療法人同仁会に移管し運営することになりました。医療法人同仁会は昭和五十二年十一月折茂医院としてスタートしました。この時代は介護を含めた高齢者問題はほとんどありませんでした。病院や医院は医療だけを専門にしていればよかったです。昭和の終わりのころから日本は高齢化時代を迎えるといわれ始めましたが一般にはあまりピンときませんでした。

平成になると寝たきりの人や認知症の人の介護について相談を受けることが次第に多くなりましたが医院ではそういうことに対して何の力にもなる事ができません。また病院は病気が治っても行き場がない人たちの社会的入院の受け皿となり緊急を要する重症の病気の人を受け入れる場所がなくなりました。国の施策に沿って折茂医院では平成九年に飛騨で初めての新設の老人保健施設を設立いたしました。老人保健施設は病院から家庭へ復帰できる様子ハビリをするための施設であり滞在期間は原則的には三か月となっています。現実にはハビリが終わった後の受け皿がありません。その受け皿のために特別養護老人ホームを計画しましたが高山市から許可が

下りませんでした。高齢者が安心して老後を送るためには終の棲家が必要です。特養に代わるものとして有料老人ホームと適合高齢者専用賃貸住宅を計画しましたがこれは医療法人には法的に許可されていませんでした。株式会社レザミひだを立ち上げ平成二二年四月昭和町に複合施設レザミメディアケアガーデンとして住宅型有料老人ホーム、適合高専賃、デイサービス、リハビリジム、ヘルパーステーションを設立しました。住宅型有料老人ホームは介護付き有料老人ホームとして高山市に申請したのですが介護保険料が高くなるのでという理由で許可されませんでした。行政の立場の者はもう少しグローバルな考えを持ってほしいと思っています。今後の超高齢社会にとって必要なことは医療、介護、予防、生活支援、住まいの五つの分野の緊密な連携だと思っています。医療法人同仁会では介護予防から終末期の病態の患者さんに対して二四時間三六五対応できる体制ができました。また職員一人一人がプロとしての技術の向上を図り誠意を尽くすことをモットーにしています。今後もよろしくお願いたします。

【同仁会組織図】



住宅型有料老人ホーム Dr. Orishige ビオメゾン

住宅型有料老人ホーム

Dr. Orishige ビオメゾン

施設長 折茂 佑子



平素から住宅型有料老人ホームDr. Orishige ビオメゾンをご利用いただきありがとうございます。

Dr. Orishige ビオメゾンもこの四月で開設から五周年を迎えることができました。これもご利用者様各位と、ご家族の皆様、関係各位の皆様のご支援とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

また平成二五年二月より同じ建物内にヘルバーステーションレザミが開設し、ビオメゾンでのサービスと介護保険でのサービスを組み合わせ、入居者様の個別のニーズにより細やかに対応できるようになりました。訪問する職員は有料老人ホーム職員が兼務しますので、顔馴染みの職員の訪問に入居者様も安心してご利用いただけることと思います。

医療法人同仁会への移管後も、施設長はじめ、職員の変更はございません。レザミひだでの経営理念を引き継ぎ、入居者様、利用者様がいかなる状態になられても尊厳と権利が守られているホームとして、職員一同一層努力して参ります。今後ともご指導、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

Dr. Orishige ビオメゾン職員（自己紹介）

○副施設長兼

生活相談員

折茂いづみ



急速な超高齢化に伴い関係法令も毎

年のように改正され、高齢者の方のお住まいも多種多様となっております。選択肢が広がる一方高齢者の方からするとわかりづらくなってきて

います。その方にあったお住まい選びのご相談から、ご入居者様の安心な暮らしに貢献できるよう、メディアケアガーデン内外の同仁会各事業所と緊密に連携し、微力ながら精一杯お手伝いをしてまいります。

○主任

薬師寺将憲



（介護職主任）

二才八カ月になる一人息子の育児に悪戦苦闘しながらも、日々の成長や変化に驚かされたり、感心したりと今、流行りの育メンオヤジをやっております。介護においても育児同様その人らしさ、個性を大事にしながらおひとりおひとりのニーズに添ったお手伝いができるように心がけて日々勉強させて頂いております。

○田中幸子

（介護職）



介護の知識を生かして義母の介護をしています。休みには孫達からエネルギーをもらっています。

○吉住明弘

（介護職）



最近物忘れが多く悩み始めた四三歳です。皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願ひします。

○林貴史子

（介護職）



良くも悪くも楽天的な性格です。

○山下恵里子

（介護職）



二〇歳・十八歳・十四歳の三人の子持ち職員です。体力の衰えを実感しつつも、頑張って仕事をさせていただいています。宜しくお願ひ致します。

○小瀬友和

（介護職）



二年前から、介護の仕事を始めました。至らぬ点も多いですが、毎日笑顔で頑張ります。

○隣垣実希

（介護職）



健康には気をつけて頑張って仕事をさせていただきます。

○阪口明美

（介護職）



入社したばかりの新人の阪口明美です。最近野菜作りにはまっています。性格は、おとなしい方だと思ひます。年はとっていますが、まだまだ未熟なのでお願ひします。

○小島純江

(介護職)



食欲よりも、何より睡眠欲が強いです。(なかなかできませんが)一日何もせずボーッと布団でゴロゴロしたい。今の小さな夢です。

○川嶋美雪

(介護職)



読書・スポーツ観戦が大好きです。

○藤木あけみ

(看護職)



ビオメゾンで看護師をしています。勤務が午前半日の為、毎日バタバタと慌しく時間が過ぎてしまうのが、悩みの種です。

○清水純子

(看護職)



四月よりビオメゾンに再就職させて頂きました。自分が介護されないように頑張りますので、よろしくお願ひします。

○面手育代

(看護職)



趣味表千家茶道・池ノ坊華道・登山・お料理・山野草を育てる事。長い間家庭に入っていましたので、実践に

入り手間取っています皆様のご指導のもと、頑張っていると思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

○真野厚子

(事務職主任)



株式会社レザミひだの設立時に事務職として入社いたしました。八月一日より医療法人同仁会に所属が変わりますが、同仁会の一員としてこれまでの経験を活かして頑張りたいと思います。

○中西陽子

(事務職)



利用者様の笑顔から元気をもらい皆様と関わらせて頂くことで日々勉強させて頂いています。笑顔で頑張りますのでよろしくお願ひします。

○柚原悦子

(事務職)



今年の四月から事務に勤務している新人です。人生は当に折り返している一見ベテラン風ですが、福祉関係の仕事は初めてなので色々戸惑うことも多いですが、よろしくお願ひします。

メゾンゆい

○八賀薫

(介護職 メゾンゆい生活相談員兼務)



介護の仕事を始めて三年ほどになります。まだまだ分からない事も多く他のスタッフに助けられる事ばかり

ですが、いつも笑顔でご利用者様に元気を届けられるようがんばります。

住宅型有料老人ホーム Dr. Orishige ビオメゾン

(平成二十一年四月一日開設)

住所：高山市昭和町二一八五ー一

レザミひだメデイケアガーデン南棟 三階・五階

類型：住宅型有料老人ホーム

居住の権利形態：利用権方式

入居時の要件：自立・要支援・要介護

(自立の方、要支援認定、要介護認定いずれの方でもご入居できます。)

利用料の支払い方式：選択方式

(一時金方式と月払い方式いずれかを選択できます。)

介護保険：介護保険在宅サービス利用可

(介護保険が必要になった場合、介護保険の在宅サービスを利用する

ホームです)

居室区分：全室個室

定員三三室(三六名)：①個室 一八室(二八名)

二十・十九m(六・二坪)

②夫婦用四室(八名)

三五・四二m(三五・七三m)(十・八坪)

○体験入居もご利用いただけます

宿泊料(一泊二日)二人部屋 五千円(二居室として二人で利用)

※二居室を二人で利用の場合は、一万円になります。

個室 九千五百円

ヘルパーステーションレザミ

ヘルパーステーションレザミ
管理者兼サービス提供責任者

澤浦 恒子



平成二五年二月一日。ヘルパーステーションレザミが開設されました。私はヘルパーステーションレザミの管理者兼サービス提供責任者の

澤浦恒子です。今までビオメゾンの介護職員として従事致しておりました。たがこれからは、訪問介護員として、皆様の居室に訪問させていただきます。

とになりました。



訪問介護の基本方針は、「要介護状態の軽減、悪化の防止」であり、「生活機能の維持向上」です。一つ一つ、どんなに小さなことでも意向を伺って許可を求めていくという積み重ねが大切です。「自分は大切に扱われている」という実感を持っていただけるようなサービスを提供し、「あなたでよかった」と思ってもらえるように努力してまいります。開設から六ヶ月。訪問介護において、個々に寄り添ったお手伝いのなかで、今まで気づかなかった入居者様のお気持ち

訪問介護・介護予防訪問介護事業所 ヘルパーステーションレザミ

所在地 レザミひだ館内

電話 〇五七七一三七〇八〇〇

営業日 三六五日

営業時間 八：三〇～二〇：〇〇

職員体制 常勤一名

サービス内容 非常勤十三名（訪問はビオメゾン職員があたります。）
身体介護（入浴介助、食事介助、外出介助など）

や、意外な一面

など新しい発見

があり、こうし

て訪問させてい

ただくことで、

より一層入居者

様の心に近づけ

た喜びを感じて

います。

まだまだ未熟

ですが皆様にご

指導を頂きなが

ら、入居者様に

ご満足してい

ただくための介護サービスを提供でき

るよう、一生懸命努めてまいります

のでどうぞよろしくお願いいたします。



デイサービスセンター れざみ

デイサービスセンター れざみ

管理者 阿礼 由美香



平素より、デイサービスセンター れざみのご利用に際し、皆様のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成二十四年九月二十一日より、管理者としてお世話になっております阿礼 由美香と申します。平成十三年三月、医療法人同仁会介護老人保健施設それいゆの二階フロア、通所リハビリテーションそれいゆ、平成二十二年二月には、認知症対応型通所介護 デイサービスセンターへ

入社されるに勤務しておりました。当初は生後六ヶ月の長女を育てながら、夜勤等もしておりましたので皆様にご心配をおかけしながら家族の協力の元、勤めておりました。その後、次女も出産し長きにわたりお世話になっております。その娘たちも中学一年・小学四年となりました。感謝の気持ちを込めて皆様に恩返しできれば幸いです。

私にとって介護とは、利用者様・ご家族・関係者様との「出会い」に感謝しながら、安心・安全に入浴や

排泄・食事等を支援させて頂くことで、皆様から笑顔で「ありがとう」とお返事をかけてもらえ、元気を頂ける素晴らしい事だと思っております。これからもたくさんの笑顔を頂けるよう日々勉強・挑戦し精進していきます。

それでは、デイれざみのご紹介を致します。『れざみ』とは、フランス語で『友達』という意味を指します。定員二十五名(午後・午後各十名。一日利用二十五名。)

一日の利用はちよっとえらいけど自宅のお風呂に入るのは不安が大きいため、施設サービスを利用しお風呂には入りたいな…と思われる方おすすめの半日コースがあります。また一ヶ月に一作品をつくり季節感を味わって頂いております。他にも加圧トレーニングや手作りおやつ・天気の良い日には、近所の公園等へに出かけております。更に、折茂医院と各種介護サービス事業所がありますので、急変時等に即対応することが出来ます。

おもてなしの心を大切に、皆様がなじみの関係を構築でき、安心・安全にゆくりと過ごせる空間を提供できるよう努めております。見学やご相談につきましては随時承っております。

利用者の方々が楽しく過ごして頂けるようなサービス及び雰囲気作りを心がけていきたいと思っております。

(杉山介護主任・生活相談員)

デイれざみの開設と共に私も五年目の勤務になりました。皆様の安心・安全を第一に。そして、今日もれざみは楽しかった！と笑顔で無事に帰宅して頂けるよう職員一同努めて参りたいと思っております。

(田之下生活相談員)

年だけはいって何もできない私です…でも笑顔と優しさは持っていると思います。介護の仕事に就けてよかったと思えます。これからも勉強しながら頑張ります。

(清水介護職員)

利用者様が日々よりよい生活が送れるようスタッフ一同コミュニケーションを大切に安心安全に過ごして頂けるデイにしていきたいです。

(上垣内介護職員)

より良いサービス提供ができるよう努めます。

(井上介護職員)

利用者様に安全に安心して頂ける介護ができるよう技術向上していきます。

(小林介護職員)

明るく元気に！利用者様が楽しく過ごせるように技術向上を目指し笑顔で

頑張ります。

(坂本介護職員)

利用者様・ご家族がご自分のペースで、楽しくご利用して頂けますよう安心・安全・健康保持に努めていきます。

(池田看護職員)

利用者様が安心して気持ちよく通って頂けるデイを目指し頑張っていきます。

(尾崎看護職員)

安全に送迎させて頂くよう努めます。

(光坂運転手)

利用者様が毎日穏やかに過ごして頂けるように努めます。

(中村運転手)

以上の職員で日々お手伝いをさせて頂いております。お気づきの点がございましたら、どんなことでも結構です。お問い合わせください。尚、ご利用に際し若干空きがございますのでご相談くださいませ。



法人内におけるスキルアップ勉強会の紹介

それいゆの勉強会の紹介

教育委員長

高ノ山 優子



それいゆ教育委員会では、「やりがいを持って介護に携われるよう、自己啓発の意欲を高める」を目標に、専門的知識と技術の統合化を図るため、毎月第一月曜日に職員ができる限り参加しやすいよう、六月より開始を十八時から十七時四五分へ変更し、約一時間の施設内勉強会を行っています。

利用者様中心の介護観、専門的知識を基に判断して行動するという行動規範を職員全員で見直し、強化するような研修でありたいと教育委員会のメンバーで考えています。

そして各題目にそってそれぞれの委員会が中心となり、知識・技術を学び合い、その学びを通して実際に職場で生かしていくことが大切であると感じています。

また、オムツの会社の方によるオ

ムツの正しいあて方の勉強会や、それいゆの食事を作ってくれているエームサービスさんによる食中毒についての勉強会など、外部講師の方を招いて設定しています。外部講師による講演はやはり新たに学ぶことも多く、実践で即活用できると毎年好評です。

ケアの質の向上を目的に外部の研修会に参加したり、また自主的に資格取得など学習に取り組んでいる職員もいます。その自分が参加した研修会で何を学んできたのかを他の職員に発表する場も時々設定しています。

このように私たちはさまざまな勉強会を通して、常により良いケアを目指し、チーム力を向上し成長していきたいと日々考え、努力しています。

年間予定

(外部講師による勉強会は日程変更あり)

- 四月 接遇
- 五月 認知症
- 六月 感染予防
- 七月 ケアプラン
- 八月 事故防止
- 九月 ポジショニング (外部講師)

- 十月 レクリエーション
- 十一月 感染 (外部講師)
- 十二月 施設内研究発表
- 一月 リスク
- 二月 リハビリ
- 三月 介護保険

デイサービスセンター べれる

管理者 南下ひなよ



同仁会も大きく様変わりする事となり、職員の人数も総勢百五十人を超える大所帯となりました。

以前より介護老人保健施設それいゆとは別に、デイサービスセンター べれる・デイサービスセンター れざみ・ヘルパーステーションレザミなどの有志の職員が集い、「自律したスタッフになる」ことを目的に勉強会を行っております。

平成二五年度は、中堅クラスを対象に今年度自分が取り組みたい内容を企画書の作成から資料の制作実践及び報告までを試みています。

- 四月 モチベーション向上 (プラス思考の考えを身につける)
- 五月 報連相確を身につける (同じ目的意識が持てる)
- 六月 緊急時対応を身につける (緊急時対応を熟知する事で、介護現場で緊急時焦らず冷静に対応出来る動きを身につける)
- 七月 コミュニケーション技術 (様々なコミュニケーションを身に付ける事で、聴き上手)





話し方上手になる)

といった計画の基それぞれの職員が「自律したスタッフ」を目指し努力をしています。

七月の「コミュニケーション技術」では、ワンウェイ・ツーウェイコミュニケーションを使った体験をする事で、認知症・難聴等様々な疾患を抱えてみえる利用者様へのコミュニケーションには技術が必要であること！言語と非言語のミックスコミュニケーションの必要性を実感出来た事で、また日々訓練が必要であることが！



これでいい事は無いと、参加したスタッフが次へのステップアップの必要性を痛感出来た一時でした。

今後は、各事業所でのコミュニケーションの訓練を行う計画もたてております。今後は相手の立場に立った聴き上手・話し方上手な職員になれることを目指します。

毎回勉強会終了時は、スタッフ一人一人がハグをしあい一ヶ月の慰労また、明日からの活力・次月また会えることを胸に秘め、今に満足することなく日々技術磨きが出来るスタッフの育成に今後も力を入れた、勉強会を行っていきます。

職員会での試み 三大介護を体験し初心にかえる

同仁会のスタッフで結成している職員会の今年度のスローガン「初心にかえろう」での取り組み紹介をさせて頂きます。

まず第一弾として、三大介護の一つである「食事体験」を試みる事となりました。

介助者側(ケアスタッフ) 介助される側(利用者様) になり、片麻痺を前提にベット上・椅子での体験をしました。いつも何気なく行っている介助でも介助される側になると全く違った食事になり、課題が沢山出てきました。体験時は、違う部署の



新人と中堅がペアとなり親近感が芽生えた仲間意識(チーム)もでき、利用者様にとって一番の「楽しい・心地よい」食事時間とは何か?を改めて確認でき、食事介助の質の向上はもとより、利用者様の気持ちに添った楽しい食事時間を目指し、日々努力を惜しまず、理事長が掲げる「利用者様にとっては勿論のこと、職員にとっても、安心・安全な施設」を目指すことを誓えたひと時となりました。また、体験で得た事を基に早速、改善の取組みを始めた職員もおり、全ての職員が同様の意識を以って務める事に期待したいと思っています。今後は、第二回(排泄体験)第三回(入浴体験)を計画しています。今以上の介護を求めて各職員一丸となり高山一いや飛騨一の「真心・思いやり」のある介護施設を目指します。

サービス付き高齢者向け住宅 メゾンドゆい

レザミひだメディケアガーデンと同一敷地内に、バイオメゾンのある南棟の向かい側に、5階建ての高齢者向け賃貸住宅があります。

【サービス付き高齢者向け住宅】『メゾンドゆい』です。

料金について

入居時	月額費用内訳			入居時
敷金 (家賃2月分)	家賃	管理費	※サービス費 (1名)	計
24万円	12万円	3万2千円	1万円	16万2千円

①介護の資格をもった管理人が常駐し日常的な相談から緊急時の対応窓口として、様々な面からサポートいたします。

②敷地内に訪問看護・訪問介護ステーション・提携クリニック・デイサービスセンター、ショートステイが併設されています。

いざというときも安心です！

◆提携クリニックによる往診も受けられます。

サービス付き高齢者向け住宅とは

	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅
概要	介護付 住宅型 高齢者向けの居住施設	施設系 住宅型 高齢者向けの賃貸住宅
	介護サービス 生活支援サービス	台所や浴室が 各部屋に台所と浴室 共同
契約形態	主に利用権契約	主に賃貸借契約
サービス	「入浴・排泄・食事の介護」「食事の提供」「洗濯・清掃等の家事」「健康管理」のいずれかを提供	・「安否確認」・「生活相談」は必須 ・事業者により介護・生活支援サービスを提供
居室面積	施設ごとに異なる	25㎡以上 (共同スペースがある場合は18㎡)
職員配置	3:1 施設ごとに異なる	日中は職員が常駐し、安否確認・生活相談サービスを提供
介護保険サービス	「特定施設入居者生活介護」という介護保険サービスを利用可	施設・住宅に併設された事業所や、外部事業所から居宅介護サービス(訪問介護・デイサービス等)が利用可
介護保険契約	施設事業者と契約	介護サービス事業者を個別に選んで契約
入居一時金	徴収可	徴収不可

平成21年4月 レザミひだメディケアガーデンが開設した時、メゾンドゆいは、【※適合高齢者専用賃貸住宅】として、県へ登録いたしました。

平成23年10月高齢者住まい法が改正され、既存の【高齢者専用賃貸住宅】、【適合高齢者専用賃貸住宅】等は廃止され、高齢者向け住まいとして【サービス付き高齢者向け住宅】登録制度が創設されました。それに伴い、『メゾンドゆい』も、【サービス付き高齢者向け住宅】として登録いたしました。

※ 適合高齢者賃貸住宅とは、高齢者専用賃貸住宅の中でも、厚生労働省が定める特定施設(介護付有料老人ホーム)と同じ基準に適合している建物で、都道府県知事へ届け出られたものをいいます。



「それいゆ憲章」

1. 私達は、ひろく平等に愛するという「同仁精神」に基づき高齢者の自立支援と家庭復帰を目指して誠実に努めます。

1. 私達は、太陽の恵みのように誰にも明るく暖かく公明正大に礼儀正しく接します。

1. 私達は、互いの立場を認め合い人としての尊厳を守ります。

1. 私達は、施設内外の安全に心がけると共に生きていることが楽しいと思える日々を送っていただくよう努力します。

1. 私達は、いかなる困難にあっても決して絶望しないと誓います。

編集後記

私たち医療法人同仁会の折茂謙一理事長が地域に貢献する医療としての折茂医院からスタートして今年で三十八年目となります。この度、住宅型有料老人ホーム Dr. Orishige Biozon、ヘルパーステーションレザミ、デイサービスセンターれざみが同仁会に移管され法人内の医療・福祉介護サービスは十三事業所、職員も総勢百八十名を超える体制となりました。現在、各事業所毎では勿論の事、PEGYでご紹介しておりますように老健それいゆでの勉強会を始め、管理者が連携した職員会によるものなど互いのスキルアップを図って開催する勉強会を行っております。このように医療・介護それぞれが個人のマンパワーを、総じて各事業所のサービスの質を高め、地域の皆様がこれまで以上に安心してご利用いただけるよう、研鑽を重ねていきますので今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。追記として、介護サービス事業のスタートとして開設しました介護老人保健施設それいゆの「それいゆ憲章」を掲載致します。これは同仁会全体の理念ともなっております。